



夢風 YUMEKAZE



朝晩肌寒く感じるようになりました。季節の変化に伴って、周りの木々は赤色に、生徒達はグレーの冬服に衣替えをしました。紅葉と綺麗に着こなした東高の制服、どちらも見る人の心に感動を与える美しさです。さて、今回は2年生の修学旅行を中心に紹介していきます。

*夢風カラー版(PDFファイル)→ <http://www.toyotahigashi-h.aichi-c.ed.jp/>

*ご意見・ご感想(電子メール)→ yumekaze@toyotahigashi-h.aichi-c.ed.jp



ニュース News

2年生は10月17日～21日、マレーシアへ修学旅行に行ってきました。5日間を通して比較的過ごしやすい気候に恵まれました。



初日は、飛行機が離着陸するたび生徒は大歓声を上げていました。18日は首都クアラルンプール市内見学(バツ洞窟、独立国家記念碑、王宮)と体験学習を中心に日程を進めました。体験学習では、蠟燭(ろうけつ)染めのバティック体験とピューター(スズを主成分とした合金)で器を作る体験を行い、マレーシアの伝統産業を肌で感じることができました。

3日目は修学旅行の山場となる「チェラス中等学校との交流」を行いました。チェラス校の生徒たちに盛大な歓迎を受けた後、講堂でセレモニーが行われました。両校の校長挨拶、生徒代表挨拶、記念品(和だこ・飾り扇子)の贈呈の後、チェラス校はマレーシア民族舞踊を、本校は有志による柔道、全体合唱「ふるさと」を披露しました。セレモニー後はグループ単位で交流し、校内見学、自己紹介、ピクチャーブック(「総合的な学習の時間」の授業で作成)を使った日本紹介、スポーツ交流(サッカー、バスケットボール、バドミントン)、などを行いました。最後に本校有志による「ソーラン節」を披露した後、3時間半という短い交流時間は終了しました。



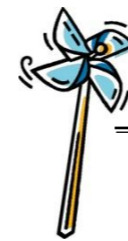
☆文化交流で行った有志による柔道



☆チェラス校交流

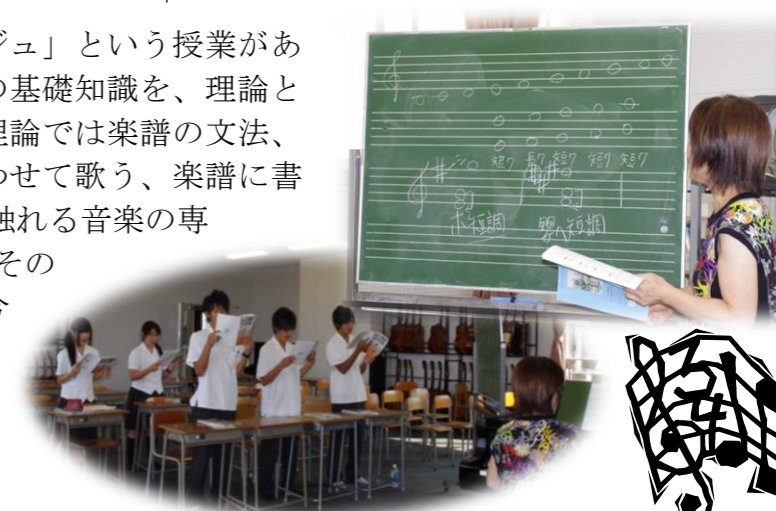
20日の最終日は「B&Sプログラム」を行いました。これは、マレーシアの大学生にグループごとについてもらい、電車やバスを使い、クアラルンプール市内を散策するというものです。

この修学旅行を通して、マレーシアの国や文化を知る機会になっただけでなく、日本や日本文化について知るよい機会になったと思っています。そして、もっと語学力を身につける必要性を感じた修学旅行でした。



授業の風景 Scenery of Classes

本校の音楽プランには「ソルフェージュ」という授業があります。この授業は、楽譜を読むための基礎知識を、理論と実技の二本柱で学ぶというものです。理論では楽譜の文法、実技ではピアノで音を弾き、それに合わせて歌う、楽譜に書くといった内容です。生徒達は、初めて触れる音楽の専門的授業の難しさに頭を抱えながらも、その眼は常に夢に向かって輝いています。今後、生徒達の歌声や演奏が日本中に流れる日がくるかもしれません。



部活動の風景 Scenery of Club Activities

バドミントン部

バドミントン部は現在1年生8人、2年生11人で活動しています。19名全員が高校からバドミントンを始めた初心者ですが、県大会に出場することを目標に日々練習に励んでいます。9月に行われた新人戦では、団体、個人ともあと1勝で県大会でしたが、その1勝ができず悔しい思いをしました。来春の総体予選で県大会出場を勝ち取るため、今後も一生懸命練習していきたいと思えます。

